

市民の幸せと本市の発展に汗を流す

緑風会

松永 鉄兵 稲葉 健二

竹内 清海 松永 修巳

現下の世界的な不況を背景に厳しい社会経済状況が続ぎ、市川市においてもご多分にもれず、市税収入が前年度比25億円ほど減収となり、市政運営に大きな影響を受けております。私たち緑風会の4人は、市民の負託に応えるべく、諸事に対し真正面から誠実に取り組んでいく所存であります。

さて、地方分権の推進により、地方自治の自主自立がより一層求められる中、二元代表制の一翼を担う議会の果たす役割は益々重要となってきました。そこで、議会活動を通して市民各位の声を反映した政策提言を積極的に発信し、環境、教育、医療、福祉、都市基盤整備等々、市政各般にわたり、議論と切磋琢磨を重ねてまいります。

大久保市長与党として、市民の幸せと本市の発展に共に汗を流してまいりますので、ご理解のうえ、ご指導をお願い申し上げます。



木象嵌 (もくぞうがん)



行徳神輿



木彫刻

市民のくらしといのちを最優先に

日本共産党

金子 貞作 清水みな子
二瓶 忠良 桜井 雅人
谷藤 利子

新たな年を迎えましたが、皆さんのくらしはいかがでしょう。雇用破壊、医療・介護・年金・子育てなど社会不安が膨らみ、国民は政権交代に夢を託しました。しかし、財界優遇、アメリカ言いなりの政治を本

気で変えなければ、国民の期待通りにはなかないけません。「これでは暮らしていけない」。日本共産党にはこんな深刻な相談が増える一方です。

日本共産党市議団が行った市政アンケートには、こどもの医療費助成拡大、保育園の増設、高齢者福祉の充実、国保税の引き下げ、雇用対策、歩道のバリアフリー化、信号機やカーブミラーの設置、三番瀬や外環問題などたくさんの方が要求が寄せられました。

これまでも5人の党市議団は公約実現の立場で議会質問と同時に予算要求や緊急申し入れなども行ってきました。新たな年を迎えるにあたり、改めて原点に立ち、市民のくらしといのちを最優先する政治実現のために、積極的に提案して頑張る決意です。

公明党

大川 正博 宮本 均 大場 諭
堀越 優 松葉 雅浩 戸村 節子
小林 妙子 笹浪 保

「大衆とともに」を胸に刻み

市民生活を守る

謹んで新年のお慶びを申し上げます。市民の皆様には、日頃から力強いご支援を頂き、心より感謝申し上げます。昨年は、惑星探査機「はやぶさ」の生還、ノーベル化学賞ダブル受賞など感動的な出来事の反面、口蹄疫被害、高齢者居所不明、記録的な猛暑など忌むべき報道もありました。政治的局面において尖閣諸島、北方領土など外交や安全保障、田高・株安など景気・経済、雇用、福祉、教育など難問が山積しております。

公明党は昨年10月に党大会を開催し、「大衆とともに闘う野党」として、全国三千名の地方議員・国会議員のネットワークを活かし、現場第一主義で国民生活を守る政党としての決意を新たに、①21世紀型経済成長。②新しい福祉を含む社会保障制度の再構築。③地方分権の推進と地域主権型道州制への基盤づくりを柱に出発させて頂きました。市政において、旧行徳橋の架け替え、海辺空間を活かした街づくり、小規模多機能型を含む介護環境の改革、生活年金の拡充、高齢者医療費負担軽減、こどもの医療費助成、保育園待機児童の解消、ヒフワクチン・子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成、警察官の増員で犯罪の無い安心・安全の街づくりを本年も皆様の期待にお応えするため全力で働いて参ります。

市民の目線を大切により良い市川市を

民主・市民連合

佐藤 義一 石原美佐子
並木 まき 荒木 詩郎
守屋 貴子

新年明けましておめでとございます。地域主権の時代の到来です。我々、民主・市民連合の議員は一人一人が地域の目線、市民の目線を大切にし、より良い市川市を築き上げ

る為に今年も邁進していく所存です。

経済状況が厳しい中、地方財政も国と同様厳しい運営を迫られている時代において、市川市の現在の健全な財政運営を維持しつつ、選択と集中の視点からも住民福祉の更なる向上に向け、議会機能の強化、支所及び出張所の強化、予防医療、福祉施設の増設、障がい児・者の支援体制、子育て支援、教育環境の向上、自然との共生、公共施設の耐震化、下水道整備、街づくり、健康都市としての成熟、人間と動物の共生、IT都市としての発展、都市ブランドの構築などをキーワードとして、本年も市民サービスの向上を目指し市政への提言、提案を全力で行ってまいります。本年もどうぞ皆様からの御指導を賜りますよう御願い申し上げます。

つばさ

田中幸太郎

子供にツケをまわさない

謹賀新年。
「子供にツケをまわさない」を理念とし、批判ではなく建設的に提案できる政治家として活動してまいります。

道

かいづ 勉

現場第一主義に徹して

菅野公民館(日出学園隣り)は本年三月のオープン予定であります。今年も地域の皆様方と力を合わせ、現場第一主義に徹して頑張ります。

